

平成30年度 松戸市社会教育計画年度報告書

松戸市社会教育計画は、すべての市民の学びを保障し、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、社会教育行政が果たす役割と方向性を示す計画です。

本計画では、「市民一人ひとりが、いつでも どこでも 必要に応じた学習活動を積極的に行うことができ、その学習の成果を自らの人生や地域社会の活性化に生かすことのできる」という基本理念を実現していくために4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに施策を設けて事業を推進しております。

この年度報告書は、PDCAサイクルに基づき、各施策に対する各課の事業内容（Plan）に対し、事業の「実施状況（Do）」の点検、評価を行い、「事業の進捗や成果が適切で目標実現に寄与しているか」との視点から、各所属において、

「A：施策の目標どおり推進できた」

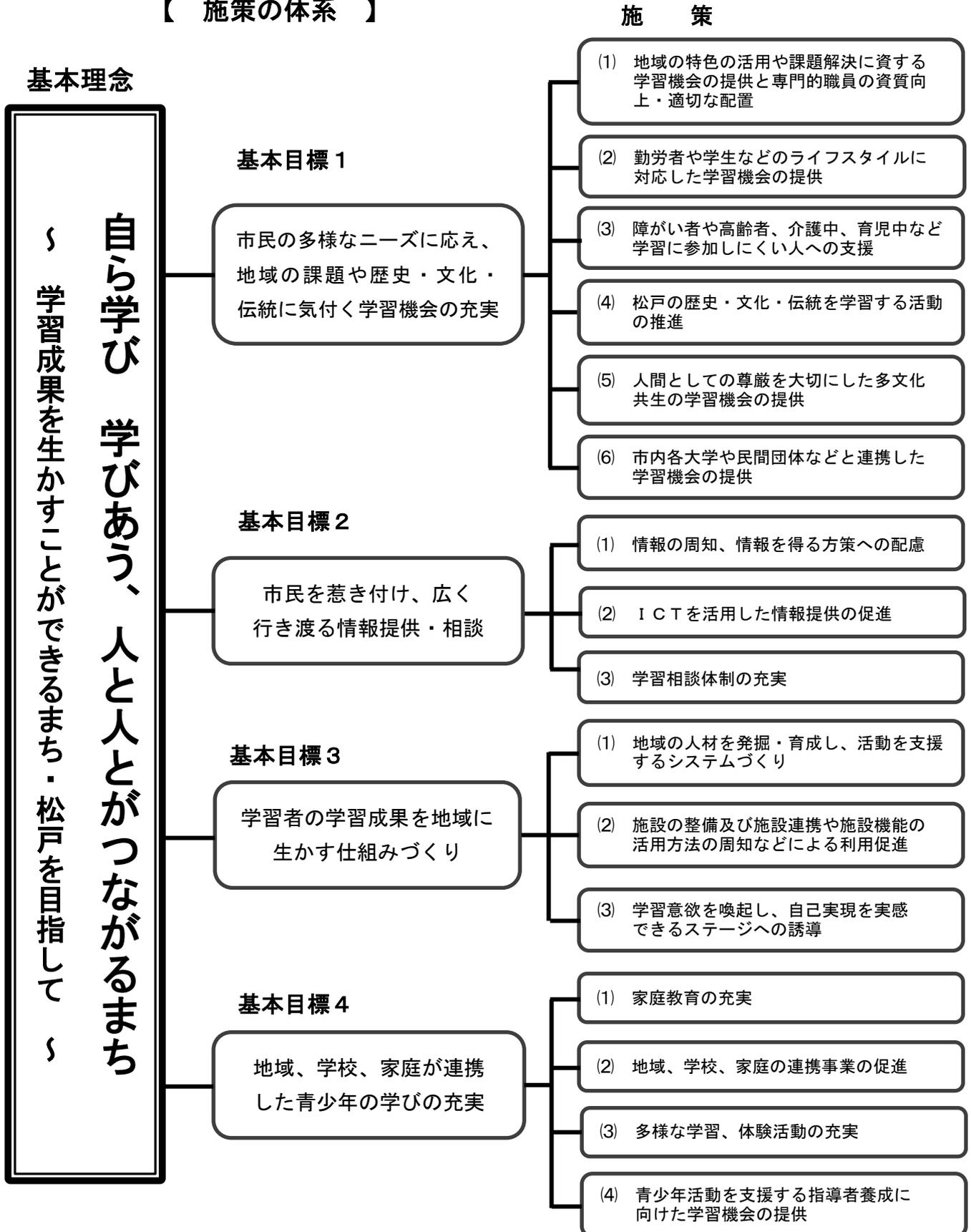
「B：施策について概ね順調に推進している」

「C：施策について進捗は遅れている又は未実施」

の三段階で定性評価（Check）を行うとともに、自己評価を受けて、事業がより推進していけるよう「課題と方向性（Action）」を示したものである。

第4章 社会教育活動を促進するための施策

【 施策の体系 】



【基本目標1】 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

《 施 策 》

(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置

施策(1) 総合評価(事業課数9)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	4/9	44.4%	4/9	44.4%	5/9	55.6%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/9	44.4%	5/9	55.6%	4/9	44.4%					
C	—	1/9	11.2%	0/9	0.0%	0/9	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)										
学 習 機 会 （各 種 講 座 開 催 事 業 （P 3 2）	生涯学習推進課	市民が趣味や教養を高めるなど自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができるよう、各種学習の機会を提供する。										
		<ul style="list-style-type: none"> ・まつど生涯学習大学講座 ・ふるさと発見創造講座 ・成人講座 ・市民大学講座 										
		平成30年度の実施状況(Do)										
		新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりを目指して様々な課題や学習テーマを取り扱い、市民には好評であった。また、開催場所についても市内各地域の公共施設を使用することで、より多くの市民が参加した。										
		<ul style="list-style-type: none"> ・まつど生涯学習大学講座(入門コース)参加者数 H30: 延べ5,798人(18回開催) H29: 延べ5,719人(18回開催) ・まつど生涯学習大学講座(創年コース)参加者数 H30: 延べ186人(10回開催) H29: 延べ199人(15回開催) ・成人講座参加者数 H30: 延べ3,302人(12講座79回開催) H29: 延べ4,518人(27講座106回開催) ・市民大学講座参加者数 H30: 延べ2,134人(8講座33回開催) H29: 延べ2,151人(8講座31回開催) 										
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
			—	A	A	A						
令和元年度の方角性(Action)												
講座内容のマンネリ化や新たな受講者の獲得に向け、多様化する市民ニーズに即した幅広い学習テーマを設けることが課題であり、講座の企画段階において、テーマ、講師選定、開催回数や時期、場所の設定等を工夫し、様々なテーマで学習機会のさらなる拡充を図る。 なお、平成30年度は、まつど生涯学習大学講座を受講経験に応じて「入門コース」と「創年コース」の2コースに分けて実施したが、「創年コース」という名称を平成29年度まで4年間使用していた「ふるさと発見創造講座」に戻し、馴染のある講座名称とイメージしやすい内容で開催する。												
松戸の教育参考ページ		P62～64 (1)講座状況										

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動支援事業 (P32)	生涯学習推進課	市民の自主的な社会教育活動の振興を図るため、社会教育関係団体への支援を行う。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料等の減免、共催、後援 ・広報掲載(行事案内、会員募集) ・ポスター掲出 ・視聴覚ライブラリーを無料で貸し出し 						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館使用料等の減免: 10割減免(社会教育関係団体)H30:1,885件 H29:2,039件 3割減免(社会福祉団体等)H30:21件 H29:19件 ・共催・後援 H30:140件 H29:138件 ・広報掲載 H30:289件(4/1~3/15号:行事案内、会員募集など)H29:247件 ・ポスター掲出 H30:85件 H29:94件 ・視聴覚ライブラリー貸し出し:H30:285件 H29:219件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、社会教育関係団体の支援を通して、市民の自主的な社会教育活動の振興を図る。								
松戸の教育参考ページ	P69 (4)視聴覚ライブラリー							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業 (P32)	図書館	課題解決のために多様な情報の提供を図るとともに、市民の自主的な学習活動を支援するため、調べ方案内の提供や情報活用能力の育成を図ります。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所別館6階に書庫スペースを設け、蔵書収容能力の拡充を行った。また、開架資料の選定や複本冊数の適正化などを積極的に行い、多様な情報の提供のための蔵書構築を進めた。 ・レファレンスのワークショップを開催し、市民の情報リテラシー(情報活用能力)の向上を図った。 ・松戸市制75周年記念の展示に合わせて、松戸の民話、松戸の自然・生物に関する調べ方案内(パスファインダー)をそれぞれ作成し、配布した。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	C	B	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、蔵書収蔵能力の拡充を図るとともに、幅広い分野の資料の体系的な収集を進める。また、調べ方案内(パスファインダー)の作成を行うとともに、レファレンスのワークショップを行うなど、市民の情報リテラシー向上のための取り組みを進めていく。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社 向 会 上 教 育 適 専 切 門 な 的 配 置 員 (P32) の 資 質	教 育 企 画 課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成30年度の実施状況 (Do)						
		専門的職員の資質向上については、派遣研修計画に基づき、各課に研修予算の配分を行い、一定の研修機会は確保できている。 ・研修件数 H30:8件 H29:8件						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	A	A		
		令和元年度の方向性 (Action)						
		社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上については、引き続き派遣研修計画に基づき、各課に研修予算の配分を行い、一定の研修機会の確保に努める。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容 (Plan)						
社 向 会 上 教 育 適 専 切 門 な 的 配 置 員 (P32) の 資 質	社 会 教 育 課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成30年度の実施状況 (Do)						
		・社会教育主事について、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する「社会教育主事講習」に研修生として1名を派遣した。 ・社会教育主事の発令を受けている職員：H30:1人/17人(H29:1人/17人) ・文化財については、他分野に渡る専門的知識の修得のため、文化財担当学芸員に加え、事務職員も千葉県や千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会などの研修会や研究会に参加し、資質向上を図った。 ・H30文化財に係る研修会及び研究会参加人数：延べ26人(19件)[H29同参加人数：延べ30人(17件)]						
		担当課による定性評価 (3段階評価) (Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性 (Action)						
		・社会教育主事における課題としては、市町村における社会教育主事の配置率が全国的に低下傾向であることから、事務職員が「社会教育主事講習」を受講していくことが必要である。令和元年度も、研修会に1名参加予定である。 ・文化財についても対象となる時代や地域が広範囲にわたることから、職員には幅広い知識とそれを補うための学習が必要となっている。令和元年度も担当職員の知識の修得のための研修会の参加を進めていく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社 向 会 上 教 育 適 専 切 門 な 的 配 置 員 (P 3 2) 資 質	生 涯 学 習 推 進 課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		社会教育主事資格取得のために講習会へ職員を派遣するとともに、職員の資質向上を図るため必要な研修機会を充実させる。 ・社会教育主事の発令を受けている職員:6人/16人 ・新たに「社会教育主事講習会(社会教育実践研究センター)」を受講した職員:1名 ・その他、千葉県公民館連絡協議会や同東葛飾公民館連絡協議会が主催する講座や研究大会に随時職員を派遣した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、社会教育主事資格取得のための講習会をはじめ職員の資質向上を図る研修機会の充実に取り組む。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社 向 会 上 教 育 適 専 切 門 な 的 配 置 員 (P 3 2) 資 質	図 書 館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		・司書資格取得のための講習会に職員1名を派遣した。(司書資格取得) ・ビジネス・ライブラリアン講習会・中堅ステップアップ研修・障害者サービス担当職員養成講座をはじめ、さまざまな外部研修への職員の派遣を行うとともに、館内職員研修(3回/年)を行い、専門的職員の資質向上を図った。 ・職員派遣研修数(庁内研修除く) H30:39件 H29:33件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
・専門職たる司書の絶対数が足りない状況が続いている(正規職員のうち司書有資格者9名)。引き続き、司書資格取得のための講習会へ職員を派遣し、司書の確保に努める。 ・外部研修への職員派遣、および館内研修の充実に努め、専門的職員の資質向上を図る。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社 向 会 上 教 育 適 切 な 配 置 員 (P32) の 資 質	戸 定 歴 史 館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		元教員を学習支援専門員（非常勤職員）として配置し、市内小中学校の校外学習資料を作成や社会科見学に対応した。 平成28年度より学芸員を1名採用し、学芸員が館長1人という状態ではなくなったが、事務職員1名減員と同時のため、事務処理も行わざるを得ず、研究時間の確保が不足している状況となっている。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
		平成30年度に学芸業務を兼務していた館長が退職し、平成31年度は、前館長が嘱託として在籍しているが、週3日の勤務であり、現館長は、事務職で、学芸員ではないことから学芸業務に係わる人員が足りない状況である。戸定邸保存活用、戸定歴史館の展示会への関わりについては、現状、学芸業務担当職員が1名であるため、必然的に学芸業務への負担が増えており、学芸員1名体制から学芸員2名体制への理解を得る必要がある。 学習支援専門員は、引き続き市内小中学校等への広報活動及び資料作成を行う。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社 向 会 上 教 育 適 切 な 配 置 員 (P32) の 資 質	博 物 館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		博物館においては、高い専門的技能をもつ学芸員の存在が不可欠であり、資料の収集、保管など、専門的知識・技術の習得、知識の向上を図ることを目的として、各種研修会に参加した。 ・研修会参加実績 H30:1回 H29:3回						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
		新たな市民ニーズに対応する博物館運営を行うためには、学芸員の計画的な配置や人材育成が必要である。学芸員に求められる専門的な知識・技術の一層の向上を図るため、研修などにより学芸員の人材育成に取り組んでいく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供

施策(2) 総合評価(事業課数2)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/2	100%	2/2	100%	1/2	50%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	1/2	50%					
C	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学 習 機 会 提 供 事 業 (P33) (基礎学力再履修講座開催)	生 涯 学 習 推 進 課	義務教育を終えた後も、基礎学力が足りない、基礎学力をもっと身につけたい、また、その他様々な理由により再び学びたいと考えている市民に対し、講座を開設する。							
		平成30年度の実施状況(Do)							
		・基礎学力再履修講座 カリキュラム 国語・数学・英語・社会 授業開催数 H30: 述べ719回 H29: 774回 受講生 H30: 139人 述べ9,435人 H29: 128人 延べ8,688人 修了書授与者 H30: 105人(出席率70%以上) H29: 96人(出席率70%以上)							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
				—	A	A	A		
		令和元年度の方角性(Action)							
受講生が、60歳以上のシニア層のリピーターであるという実情と中学校夜間学級の設置の動向を踏まえ、位置づけを「人生100年時代の生涯学習講座」として中学校夜間学級との棲み分けを図り、市民に分かりやすく、より多くの方に参加いただけるよう名称を「基礎学習講座」に見直す。 また、長期に渡り受講している方も多いため、学んだ成果をまとめて発表する機会を検討するとともに、抽選により希望の教科を受講できなかった方や、リピーターの方で更に学習を深めたいと思っている方等には、自主的なグループ活動や自主企画団体化を促し、必要な支援を行う。									
松戸の教育参考ページ		—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(学 各 種 講 座 機 會 開 催 提 供 部 再 掲 業 P 3 2 3 3)	生 涯 学 習 推 進 課	【成人講座】 働く人々等を対象とした、新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりをめざした学習の場として開催する。 (昼間・夜間・週末に実施)						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		現代社会の様々な話題や課題を学習テーマとして、経験・知識豊かな講師を選定した講座を開催した。 ・成人講座参加者数 H30:延べ3,302人(12講座79回開催) H29:延べ4,581人(27講座106回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	B			
		令和元年度の方向性(Action)						
		講座数の減少、講座内容のマンネリ化が課題である。多様化する市民ニーズに対応するため、時代に即したテーマや講師による講座を企画するとともに、受講者が参加しやすい開催場所や開催日時を工夫して実施する。						
松戸の教育 参考ページ	P62 (1)講座状況 [成人講座]							

《 施 策 》

(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援

施策(3) 総合評価(事業課数4)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	3/4	75%	3/4	75%	4/4	100%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/4	25%	1/4	25%	0/4	0.0%					
C	—	0/4	0.0%	0/4	0.0%	0/4	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)										
(図書館管理運営) (一部再掲) (P32) (P34)	図書館	病院等施設(病院及び老人ホーム)に入院・入所して図書館利用に困難な状況にある方々への巡回サービスを実施し、市民が「等しく」利用できる図書館を目指している。また、身体障害者及びねたきりの方々に対しても、図書の宅配サービスを行う。										
		平成30年度の実施状況(Do)										
		事業を円滑に進めるため、施設巡回における運用の見直しを行った。また、各施設へのアンケート調査を実施し、それを参考に巡回計画の見直しを行った。										
		・施設巡回サービス 巡回施設数 H30:24施設 H29:24施設 巡回回数 H30:431回 H29:500回 延利用者数 H30:4,324人 H29:4,180人 貸出冊数 H30:13,481冊 H29:14,426冊										
		・宅配サービス 登録者数 H30:58人 H29:60人 延利用者数 H30:349人 H29:352人 貸出冊数 H30:1,152冊 H29:1,237冊										
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
			—	B	B	A						
令和元年度の方角性(Action)												
・高齢化が進み、高齢者数や高齢者施設が増えている現状を踏まえ、本館、分館やホームページ等でサービスの周知を図る。 ・各施設にアンケートを行うなどし、利用者のニーズの把握に努め、利用の促進を図る。												
松戸の教育参考ページ		—										

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年活動支援事業 (P34)	生涯学習推進課	【青年学級講座】 特別支援学級を卒業した人を対象に、自立、余暇活動の充実、仲間づくりを支援し、社会的連帯感を高めていく機会として開催する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		平成30年度は主として毎月第4日曜日に計12回の行事を開催し、カラオケ大会、健康ヨガ、ボウリング大会、料理教室、ユニカール交流会などを行った。特に、ユニカールではなんでも体験団の小学生と合同で行い、交流を図った。また、青少年会館芸術祭では歌の発表も行った。延べ参加者は子供、父母、ボランティア等を合わせて265名(H29:280名)であった。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
青年学級は新たな参加者が少なく参加者の固定化、高齢化が見受けられる。市内の就労支援施設等へ周知を図るなどの情報発信をし参加者の増加に努めると共に、今後のあり方について検討が必要である。								
松戸の教育参考ページ		P78 [その他の状況] 青年学級						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 各 種 講 座 機 会 提 供 再 掲 業 (P3234)	生涯学習推進課	【まつど生涯学習大学講座】 60歳以上の人を対象に、自らの生活課題や社会的課題に即した学習をもとに、地域の主体的な行動者となることを期して開催する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		前年度受講生からなる提案委員会において次年度に学習したいテーマを検討し、現代社会の様々な生活課題、地域の歴史や伝統文化、行政の仕組みなど、多様なテーマと魅力ある講師による講座を開催した。 ・生涯大参加者数 H30:延べ5,798人(全18回開催) H29:延べ5,719人(全18回開催) ・提案委員会参加者数 H30:延べ68人(全8回開催) H29:延べ72人(全8回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
毎年、定員を大幅に超える応募がある人気講座だが、講座を修了した受講者がその後、積極的に生涯学習や地域活動に参加できる仕組みづくりが課題となる。令和元年度は全18回のうちの1回に生涯学習フォーラムを組み入れることにより、地域活動やボランティア活動の実践事例を紹介し、受講者が講座終了後のステップアップに繋がることを期する。								
松戸の教育参考ページ		P64 [まつど生涯学習大学講座] [平成30年度まつど生涯学習大学講座プログラム]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
家 庭 子 教 育 力 向 学 上 事 業 開 催 (P 3 4)	生 涯 学 習 推 進 課	家庭の教育力回復支援事業の一環として、孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者たちに、子育てに関する情報や学習の機会を提供し、参加をサポートする。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加することの少ない保護者たちでも親子で参加できる講演会や講座を開催し、参加した保護者に向けて、子育てに関する学習会や講演会の情報を提供する。 ・親子特別公演 市民劇場 親子参加者数 H30:253名 H29:213名 ・子育てフェスティバル出張講座 親子参加者数 H30:237人 H29:350人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加することの少ない保護者たちでも親子で参加できる内容や日程などを工夫し、引き続き、講演会や講座を開催し、親子の関係性を深める場と子育てに関する情報や学習の機会を提供していく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進

施策(1) 総合評価(事業課数7)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	1/8	12.5%	2/7	28.6%	5/7	71.4%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	7/8	87.5%	5/7	71.4%	2/7	28.6%					
C	—	0/8	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)										
文化財保護事業(P35)	社会教育課	文化財の保護啓発活動に努めるとともに、学習資料として文化財マップの作成、埋蔵文化財調査報告書の刊行、史跡めぐりや講座などを行う。学校教育と連携し、市内小中学校教材「のびゆく松戸市」「われらの松戸」に市内の文化財等を紹介する。										
		平成30年度の実施状況(Do)										
		松戸の歴史、文化、伝統を学習する活動の学習資料として、文化財マップの配布、埋蔵文化財調査報告書の刊行を行い、史跡めぐりを実施した。さらに、文化財の保護啓発活動のため、松戸市ホームページへの掲載や雑誌掲載の記事提供などを行った。										
		<ul style="list-style-type: none"> ・H30: 史跡めぐり参加者数 延べ66人 (3回(6日間)開催[内1回は親子史跡めぐり]) H29: 同参加者数 延べ72人 (3回(5日間)開催[内1回は親子史跡めぐり]) ・H30: 新規刊行物・報告書2種類 H29: 新規刊行物: 報告書2種類 										
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
		—	B	B	B							
		令和元年度の方向性(Action)										
文化財に関しては、個人から団体の学習まで幅広く、また専門的な相談への対応が必要になっているので、担当職員のさらなる知識修得が課題である令和元年度は職員の知識のさらなる習得や史跡めぐり等の実施により啓発と学習活動の推進を図っていく。												
松戸の教育参考ページ		P55 (2)文化財保護										

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
戸定歴史館管理運営事業 (P35)	戸定歴史館	国指定重要文化財「旧徳川家松戸戸定邸」、国指定名勝「旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)」の公開と、水戸藩最後の藩主であり、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の弟である徳川昭武の事跡を中心に数ヶ月に一度の割合で内容を変更しながら歴史館において展示会を開催し、市民の学習及び文化、芸術活動の場を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		旧徳川昭武庭園、東屋庭園の復元工事が完了し、新聞等マスコミ等で多数紹介された。また、庭園復元工事記念コンサート等の音楽イベント、戸定歴史館におけるギャラリートーク等の講演会を実施した。 復元工事完了後の庭園と戸定邸の保存活用など、貴重な文化財を将来に渡り安定的に維持管理する予算確保のため、入館料の改定(平成30年6月1日施行)を行ったことにより、入館者数の増加に伴い入館料も増えた。 ・戸定歴史館入館者数：H30 27,756人(249日間)、戸定邸入館者数：42,029人(306日間) 合計 69,785人(前年度比136.8%) ・入館料：9,414,460円(前年度比192.1%)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		平成30年度の成果を踏まえ、庭園復元のPR、そのために音楽コンサート等のイベントを開催する。 また、隣接する千葉大学園芸学部と松戸市は包括協定を結んでおり、同じ戸定が丘にある戸定歴史館と密接かつ具体的に連携し、お互いの持っている機能を補完し、魅力度を高めていく。 さらに、規模が拡大された歴史公園全体を有効活用するため、戸定歴史館増床への有益性、必要となる理由づけとその意義等を検討する。						
松戸の教育 参考ページ	P94 展覧会開催等							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館展示事業 (P35)	博物館	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深める機会を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		展示事業を通して、郷土の歴史と文化についての資料収集をし、保管及び展示を行っている。 ・常設展示観覧者数 H30:延べ20,777人 H29:延べ16,437人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		常設展示の照明機器は、導入してから25年経過しており、不具合を生じている箇所 の機器更新を行う。						
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館展示事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館学習支援事業 (P35)	博物館	歴史講座等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史・文化等に関わる最新情報を様々な媒体を通して提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		松戸市の歴史・文化の講座及び学校教育での博物館の利用を促進するため見学会を行うなど学校教育との連携を深めている。 ・歴史講座 H30:(古文書を読む「近世入門編」他4講座) 延べ624人(24回開催) H29:(古文書を読む「近世入門編」他4講座) 延べ607人(24回開催) ・見学(学習活動) H30:(常設展示観覧者) 延べ5,842人 H29:(常設展示観覧者) 延べ5,311人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		学芸員の専門性を生かした講座の充実を図り、講座を通して郷土の歴史や文化を伝えていくとともに、学校が博物館を利用する機会を増やし、博学連携が進展するように取り組んでいく。 ・講座(21回) ・講演(13回) ・体験教室(4回) ・こども体験教室(10回※うち博学連携プログラム2回)						
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館学習支援事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館歴史資産収集調査事業 (P35)	博物館	松戸を中心とする歴史・文化等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		博物館資料としての寄贈・寄託を受け、収集・保存を行った。 市内の古文書の調査を実施した。(古文書調査委託) ・寄贈 H30:(2件・142点) H29:(8件・425点) ・寄託 H30:(2件・573点) H29:(2件・573点)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		博物館資料の収集等を行うとともに調査研究を行い、展覧会、講演会等を開催していく。						
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館歴史資産収集調査事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市史編さん事業(P35)	博物館	市民が郷土の歴史についての理解を深め、郷土に対する誇りをより一層高められるよう、松戸市史の編さんを行う。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		市長から諮問のあった『松戸市史上巻』改定事業が終了し、市史編さん委員は平成28年6月30日をもって任期満了となっている。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	事業終了			
		令和元年度の方向性(Action)						
		市史編纂委員会からの意見により、今後の『松戸市史』編さん事業については専門の組織を立ち上げて、長期計画のもとで慎重に進める。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館(郷土資料提供)運営事業(P32)(P35)	図書館	郷土資料等の郷土の歴史と文化に関する資料を積極的に収集・保存し提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所別館6階に書庫スペースを設け、蔵書収容能力の拡充を行った。 ・郷土資料の受入冊数 H30:400冊 H29:279冊 ・松戸市制75周年記念展示として郷土資料の展示(5回/年)を行うなど、地域の歴史・文化・伝統に関する情報の発信に努めた。 ・郷土に関する講座「"わたし"が愛する松戸宿～古き良き昭和を訪ねて～」を開催し、39名の参加があった。 						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、積極的な資料の収集に努める。また、市民により活用されるような資料の配置方法や、必要なりスト等の抽出・作成、郷土に関する講座の開催について検討していく。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
美術文化関係事業（P36）	社会教育課	美術館等の開設を準備するとともに、松戸ゆかりの美術についての調査及び優れた美術品等の収集、保存、公開を行う。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<p>松戸ゆかりの美術作品や資料等についての調査、収集、保存管理を行い、作品の公開として博物館、聖徳博物館にて、企画展を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査 : 松戸ゆかりの美術家の作品調査 追加調査:4人(H29年度:4人) 松戸の美術作家に関するアンケート調査 追加調査:5人(H29年度:5人) ・収集 : 寄贈 101点(H29年度:寄贈 62点 寄託1点) ・保存 : 美術作品、資料等の整理、燻蒸業務、修復業務、保管業務 ・公開 : 「松戸市制75周年記念 松戸ゆかりの美術展—その潜在力—」 <ul style="list-style-type: none"> ◆会期 : H30年8月4日から9月2日【26日間】 ◆会場 : 松戸市立博物館 ◆出品数 : 180点 ◆観覧者数 : 1,066人 <p>「聖徳大学・聖徳大学短期大学部 松戸市・松戸市教育委員会共同企画展 フジタとイタクラ エコール・ド・パリの画家、藤田嗣治と板倉鼎・須美子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆会期 : H31年1月16日から3月16日【48日間】 ◆会場 : 聖徳博物館 ◆出品数 : 30点(松戸市:12点 聖徳大学:11点、個人:7点) ◆観覧者数 : 6,230人【学外来場者数】 <p>(H29年度)「よみがえる画家板倉鼎・須美子展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆会期 : H29年4月8日から6月4日【50日間】 ◆会場 : 目黒区美術館【主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団】 ◆出品数 : 167点 ◆観覧者数 : 5,943人 <ul style="list-style-type: none"> ・その他:「板倉鼎・須美子書簡集」の編集業務 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
		<p>H30年度に引き続き、以下のとおり実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査 : 松戸ゆかりの作家の作品調査及び松戸の美術作家に関するアンケート調査の実施 ・保存 : 美術作品、資料等の整理を実施 ・公開 : 森のホール21において「松戸の作家の個展」を4回開催 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存 : 未受入の美術作品や美術関係図書等の整理 適切な環境で美術作品等を保存できる場所の不足 ・公開 : 市所蔵資料等を公開する場所の不足 						
松戸の教育参考ページ	P61 (3)美術館準備室							

《 施 策 》

(5)人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供

施策(5) 総合評価(事業課数3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	3/3	100%	3/3	100%	3/3	100%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%					
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
人 権 学 習 の 推 進 (P 3 6)	生 涯 学 習 の 推 進 課	自分や自分以外すべての人たちの人権や生き方を考える講座や、直接的に人権をテーマとしていない講座であっても、可能な限りプログラムに人権課題を加えた講座を実施する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		市民大学講座「人権～その認識から人権擁護の取り組みへ～」では、人権尊重のあゆみや現状、部落差別についての講演、国立ハンセン病資料館への現地学習、参加者同士の話し合いなどにより、人権問題の理解やその深化が図れるよう企画・実施した。また、他の事業においてもプログラムの中に人権問題に関わるテーマを取り上げた。 ・市民大学講座「人権～その認識から人権擁護の取り組みへ～」全5回 H30:延べ65人 H29:延べ114人 ・まつど生涯学習大学第12回講座「人権尊重のまちづくりへの高齢者の役割」 H30:290人 H29:296人 ・家庭教育学級第2回研修会(人権研修会) H30:94人 H29:92人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
市長部局、教育委員会、人権擁護委員協議会と協力、連携して、市民大学講座、まつど生涯学習大学講座、家庭教育学級をはじめ、市長部局が開催する講演会等において、様々な人権をテーマにした学習の機会を提供する。 ・市民大学講座(全5回) 10月ころ予定 ・まつど生涯学習大学講座(第12回) 11/28 ・家庭教育学級(第2回研修会) 9/10								
松戸の教育 参考ページ		P63 [市民大学講座] P64[平成30年度まつど生涯学習大学講座 プログラム] P66 (2)家庭教育学級等の状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年会館学習機会提供事業（P36）	生涯学習推進課	【国際交流事業】 諸外国の生活・文化・風習に触れ、国際的な視野を広げ、人権や平和についても考える交流学习の機会を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		「地球案内人によるJICA地球ひろば見学&世界のランチ」講座を実施。 青年海外協力隊経験者のガイドにより、発展途上国の現状や日本の食料自給率等について学び、地球上には様々な国があることを知り今の自分の生活について考えるきっかけとなった。 ・受講者 H30:述べ10名 H29:延べ17名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、諸外国の生活・文化・風習に触れられるような学習機会を提供する。						
松戸の教育参考ページ	P78 [その他の状況] 国際交流事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
おもてなしボランティア養成事業（P36）	生涯学習推進課	日本人固有のおもてなし文化を広め、国際性豊かで内外の人々に信頼と尊敬がえられる活動の中心となるボランティアを養成する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		まつど生涯学習大学講座「創年コース」として、入門コースを修了した方が、ボランティア活動等を実践的に始めるきっかけとなることを目指して開催した。 ・まつど生涯学習大学講座(創年コース) 全10回 延べ186人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		まつど生涯学習大学講座(創年コース)から名称を変更し、平成29年度まで使用していた「ふるさと発見創造講座」として開催する。学習内容として、主にグループ活動によるまち探訪を行い、より専門的な学習や地域活動、団体活動、ボランティア活動を始めるきっかけとなることを期して開催する。 ・ふるさと発見創造講座(グループ活動によるまち探訪)(全10回) 6/10~3/23						
松戸の教育参考ページ	P64[ふるさと発見創造講座]							

《 施 策 》

(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供

施策(6) 総合評価(事業課数3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/3	66.7%	2/3	66.7%	2/3	66.7%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/3	33.3%	1/3	33.3%	1/3	33.3%					
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学 (各種講座開催) 提供 一部再掲 業(P32) (P37)	生涯学習推進課	【市民大学講座】 現在社会のさまざまな課題を取り上げ、地元大学や民間団体とも連携を取りながら開催する。							
		平成30年度の実施状況(Do)							
		市民に市内大学の施設を会場として、現代社会の様々な課題について、より専門性の高い内容の講座を提供するとともに、各大学の地域貢献活動に協力する。							
		・市民大学講座参加者数 H30: 延べ1,966人(8講座33回開催) H29: 延べ2,151人(8講座33回開催)							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
				—	A	A	A		
		令和元年度の方角性(Action)							
学習テーマや講師によって受講数に差が生じていることから、受講者アンケートの結果を大学側に提供し、市民ニーズを捉えた市民大学講座の企画運営に努める。									
松戸の教育参考ページ		P63 [市民大学講座]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地元の大学との連携方策の検討（P37）	社会教育課	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 文化財については、文化財保護啓発活動や文化財調査に際し、市内ほか各大学の専門教員と連携するとともに報告書等を大学に送付し、情報共有を図った。 美術関係については、聖徳大学と連携し、聖徳大学で所蔵している藤田嗣治の作品と松戸市教育委員会で所蔵している板倉鼎・須美子夫妻の作品を公開した。 「聖徳大学・聖徳大学短期大学部 松戸市・松戸市教育委員会共同企画展 フジタとイタクラ エコール・ド・パリの画家、藤田嗣治と板倉鼎・須美子」 <ul style="list-style-type: none"> ◆会期 : H31年1月16日から3月16日【48日間】 ◆会場 : 聖徳博物館 ◆出品数 : 30点(松戸市:12点 聖徳大学:11点、個人:7点) ◆観覧者数: 6,230人【学外来場者数】 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B			
		令和元年度の方向性(Action)						
		<ul style="list-style-type: none"> 文化財については、さらなる内容の充実を志向していくことが課題である。令和元年度も継続して市内他近隣の大学と連携して情報共有を行い、文化財調査や保護・活用に向けた協力体制構築を検討していく。 美術関係については、展覧会の共同開催に限らず、教育普及や作品研究等様々な面における大学との連携可能性を模索する。 						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地元の大学との連携方策の検討（P37）	生涯学習推進課	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		公民館運営審議会の委員に市内大学の学識経験者が加わることにより、市民大学講座の開催や各種講座への講師紹介等、大学との様々な連携協力の可能性を含め、市民の生涯学習活動の更なる推進に向けて、ご意見や助言を頂いた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、公民館運営審議会の学識経験者のご意見や助言を活かし、各大学との効果的な連携協力の在り方を検討し、市民のニーズに応えられる事業の実施に努める。						
松戸の教育参考ページ	P110 [公民館運営審議会委員]							

【基本目標2】 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

《施策》

(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮

施策(1) 総合評価(事業課数 16)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	9/16	56.3%	9/16	56.3%	11/16	68.8%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	6/16	37.5%	6/16	37.5%	5/16	31.2%					
C	—	1/16	6.2%	1/16	6.2%	0/16	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)														
広 報 活 動 の 推 進 (P 3 8)	社 会 教 育 課	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。														
		平成30年度の実施状況(Do)														
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年6月に旧齋藤邸が国の登録有形文化財に登録され、広く市民に生涯学習の場として活用して頂けるよう広報まつど等イベント等掲載し、各施設に配布をおこなった。また、市役所本館新館連絡通路にて事業の取り組み等をPRし、結果として集客に結び付いた。 ・利用者数: H30: 2,328人(942人増)、H29: 1,386人 ・文化財の保護・啓発では、松戸市ホームページへの掲載、文化財標識柱・説明板の設置、更新を行い、また学習資料として文化財マップの配布を実施した。文化庁、千葉県文化財課へも文化財の指定状況や活用状況を情報提供した。 ・文化財マップ配布数 H30: 212部(H29: 605部) ・文化財標識柱・説明板設置数 H30: 138ヶ所(新規2ヶ所、更新2ヶ所) H29: 135ヶ所(新規1ヶ所、更新1ヶ所) ・美術関係では、企画展2件及び「松戸の作家の個展」4回の開催情報を、松戸市ホームページや広報まつど電子モニター等に掲出し、広く周知を図った。併せて、「松戸の作家の個展」については、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関へ配布した。 														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2		—	B	B	B		
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2								
			—	B	B	B										
令和元年度の方向性(Action)																
課題は、広報まつどやHPへの掲載及び施設への配布のみでは広報活動の限界があるので、事業の趣旨に応じた効果的な周知方法や媒体を見出すことである。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、旧齋藤邸については、地元の町会長会議に出席しチラシを配布する他、NPO法人等に支援を頂きながら更なる広報活動を行う予定である。 ・成人式では、本年度も出席者数を増やすために、広報まつどやHP、ツイッター、フェイスブックの他、本庁舎や松戸駅にあるデジタルサイネージを活用する ・文化財については、情報を整理し、より市民目線でわかりやすい情報提供や成果物を志向していく。 ・「松戸の作家の個展」開催情報については、松戸市ホームページや広報まつど、電子モニター等に掲出し、周知を図る。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関等へ配布する。 																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">松戸の教育参考ページ</td> <td> P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧 </td> </tr> </table>	松戸の教育参考ページ	P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧														
松戸の教育参考ページ	P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧															

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	生涯学習推進課	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		市のホームページ、広報、ツイッター、パンフレット、チラシによる情報発信に加え、地域に根ざしたタウン情報誌へ情報提供を行った。 また、家庭教育に関する情報については、松戸市版幼児家庭教育パンフレットの配布に加え、ケーブルテレビ、デジタルサイネージ、ユーチューブで動画を配信しPRをした。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、様々な媒体を活用し各種生涯学習事業に関する情報が多くの市民に伝わるよう創意工夫をして行く。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	市民会館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		H30年度の実績としては、公式ツイッターで特別投影や天文教室について周知を図ったほか、地域新聞にも掲載。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		更なる集客に繋がる広報活動の実施。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	図書館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略チームを立ち上げ、広報活動の新規開拓(定例記者会見への出席、ラジオ番組への参加など)、庁内報への記事掲載(2回/年)、広報研修(館内研修)の実施、本館の案内看板の改修など、図書館のサービスの認知度の向上のための積極的な活動を行った。 ・SNSを活用した広報活動として、Facebookを利用し、テーマ展示や、イベント等の周知を行った。また、図書館の投稿をフォローするように広報広聴課に依頼するなど、閲覧数の増加に努めた。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広報戦略チームの活動を継続し、新たな案内看板の設置や、パンフレットの作成・配布等を行う。 ・SNSを活用した広報活動を継続するとともに、更新回数を増やすなど、閲覧数の増加のための工夫を行う。 								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	戸定歴史館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		全国、首都圏版の4本を含めて10本のテレビ番組に取り上げられた。この内、庭園復元工事鹿児島県主催シンポジウム、佐賀城本丸歴史館、渋沢史料館、茨城県立歴史観などでの講演会、日本仏学史学会学会全国大会など松戸以外の会場で講演、PRを行った。 また広告宣伝事業として、東京駅と品川駅で電子ポスターによるPRを実施した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
平成30年度の成果を基礎として、博物館活動の基本を踏まえた上で、音楽や食などの領域での活動領域幅を広げ、新規来館者の開拓に努めるとともに、地域で活動する各種団体、個人との情報共有、共通目的の設定により、地域一体となった情報発信を進める。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	博物館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		博物館の年間スケジュールを一覧できる『年間行事案内』、展覧会ポスター・ちらしを作成して市内外の学校やその他の関係機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っている。 ・観覧者数 H30年度:(常設展示 延べ20,777人)(企画展示 延べ23,653人)計44,430人 H29年度:(常設展示 延べ16,437人)(企画展示 延べ19,985人)計36,422人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		より効果的な情報提供を進めるため、ホームページのデザインを検討するほか、SNS等のデジタルメディアの活用等、広報戦略について研究するなど積極的な広報活動を行っていく。						
松戸の教育参考ページ	P92・93 観覧者状況							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
まつどまなびいネット (松戸市生涯学習情報提供システム) (P38)	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。 (まつどまなびいネット)http://www.matsudo-s-edu.jp						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		・アクセス数 H30:27,653件 H29:18,628件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B			
		令和元年度の方向性(Action)						
		まつどまなびいネットでできることをまとめたリーフレットを各種講座開催時に受講者に配布する。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館 管理運営 事業 (P32) (再掲)	図書館	従来の図書資料だけでなく、行政資料や各種団体が発行するパンフレットなどを含め、課題の解決に必要な情報を広く提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市制75周年記念の展示に合わせて、松戸の民話、松戸の自然・生物に関する調べ案内(パスファインダー)をそれぞれ作成し、当館資料のみならず、関連情報の紹介などを行った。 ・松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料を積極的に収集し、提供した。特に、松戸市に関する行政資料を配置する「市政情報コーナー」(本館3階)の充実を図り、その所蔵数の増加に努めた。 市政情報コーナー受入冊数 H30:72冊 H29:26冊						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> ・調べ案内(パスファインダー)など、市民の自主的なレファレンスの一助となる資料の作成を積極的に行う。 ・引き続き、松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料の収集を進めるとともに、「市政情報コーナー」の充実を図る。 ・各種団体や機関が発行するパンフレットなどを、可能な限り収集できるように努める。 								
松戸の教育 参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事内容に即した対象者への情報発信の強化 (P38)	博物館	展覧会・講座・講演会等の行事について、目的・内容に合わせて、興味・関心をもつと想定される対象者を選定し、情報の発信・提供の強化を図る(学習資料展「昔のくらし探検」:小学校への周知・校長会等でのPR、デイケアサービス等の福祉施設への広報など)。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		博物館の魅力を伝えるため、博物館の様々な事業に関する情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・市長記者会見 H30:3回(館蔵資料展、企画展、特別展) H29:3回(館蔵資料展2回、企画展) ・広報まつど H30:4回(館蔵資料展、企画展、特別展、学習資料展) H29:4回(館蔵資料展2回、企画展、学習資料展) ※講座・講演会は随時掲載 ・鉄道等公共交通機関の掲示 毎年展覧会ごとに掲示 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
博物館HP、市長記者会見、広報まつど、ミニコミ誌、デジタルサイネージ、鉄道等公共交通機関(ポスター・ちらし)、市内小中高等学校(ポスター・ちらし)等々、今後もより充実した情報発信ができるように努めていく。								
松戸の教育 参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	教育企画課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		後援承認した行事のポスター掲示があった場合、市民センターや社会教育施設に提出を依頼し、当該行事の周知に努めた。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・後援件数 H30:32件 H29:46件 ・ポスター・チラシ掲出 H30:2件 H29:8件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	C	C	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
		各課においてポスター申請の事務の流れが統一されておらず、申請者(市民)にとって混乱を招きやすい状況にあるが、社会教育施設関係各課と連携を図っている。教育委員会から学校へポスター・チラシ配布について共通の申請方法が定まったら、直ちに後援に係るポスター申請業務を整える。						
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	社会教育課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		社会教育に関する情報が各市民に行き渡るよう、松戸市民に対する学習機会の提供と認めたイベント等について、後援を行うとともに、そのイベント等を広く市民に行き渡るよう、社会教育施設等にポスターを提示をした。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・後援件数:H30 77件、H29:56件 ・ポスター掲示件数:H30 30件、H29:24件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
		課題は、ポスター提示について各施設に提示を依頼しているが、市民にどの程度情報が行き渡っているのか把握できていないことであるが、有益な行事については、引き続き周知するための支援を行っていく。						
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示（P39）	市民会館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		掲示エリアのスペースも限られているため、優先順位を考慮しながら掲示を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
年々掲示依頼も増えており、掲示にあたっては今後も優先順位を考慮し、掲示期間も明確にする。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示（P39）	生涯学習推進課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		社会教育関係団体からの申請に基づいたポスター掲出 H30:85件(内共催2件) H29:95件(内共催2件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、社会教育関係団体の申請に基づきポスターを掲示していく。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示（P39）	図書館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		主催団体及び関係課から依頼を受けたものについては、本館および市内19分館において、各館の掲示スペースの範囲内で掲示を行った。分館については、非常勤職員のための配置のため、予め市の共催、後援行事に関するものは掲示可とする旨を通知し、円滑な対応に努めた。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
開催される行事の数に対し、各館での掲示スペースが不足しているため、全ての依頼への対応が困難であることが恒常的な課題となっている。引き続き、可能な範囲での掲示を継続する。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示（P39）	戸定歴史館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、歴史館や戸定邸内にてポスターやチラシの掲示等を行った。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、ポスター掲示等の依頼があれば内容を確認した上で掲示等を行う。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示（P39）	博物館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		教育施策の推進を図るため、博物館内においてポスター等の掲示を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、教育施策の推進を図るため、博物館内においてポスター等の掲示を行う。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(2)ICTを活用した情報提供の促進

施 策 (2) 総 合 評 価 (事 業 課 数 3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	1/3	33.3%	2/3	66.7%	2/3	66.7%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	2/3	66.7%	1/3	33.3%	1/3	33.3%					
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(松 戸 市 生 涯 学 習 情 報 提 供 シ ス テ ム) (再 掲) (P P 3 3 8 9) ()	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		まつどまなびいネットでできることをまとめたリーフレットを作成し、一層の利用促進を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方角性(Action)						
		まつどまなびいネットでできることをまとめたリーフレットを各種講座開催時に受講者に配布する。 また、新元号に対応し、全てのページをSSL化することで安心して継続利用できるようにする。						
松戸の教育参考ページ	—							

《 施 策 》

(3)学習相談体制の充実

施策(3) 総合評価(事業課数7)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	3/7	42.8%	4/7	57.1%	4/7	57.1%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	3/7	42.8%	3/7	42.9%	3/7	42.9%					
C	—	1/7	14.4%	0/7	0.0%	0/7	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)											
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	社会教育課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。											
		平成30年度の実施状況(Do)											
		文化財については、個人的な学習支援、市民からの依頼による出前講座、教員等から文化財に関わる授業の相談など実施した。集団での学習時では、講師を務め、学習を深める相談を受けるなどした。											
		<ul style="list-style-type: none"> ・H30: パートナー講座実施回数 3回 H29: パートナー講座実施回数 2回 ・H30: 小学校の授業 1回(北部小学校) H29: 小学校の授業 1回(北部小学校) 											
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2					
		—	B	B	B								
		令和元年度の方向性(Action)											
文化財は、対象となる時代や地域が広範囲にわたることから、職員は幅広く専門的な相談への対応が必要になっている。令和元年度は随時相談を受けつつ、内容により可能な範囲での対応を図っていく。													
松戸の教育参考ページ		—											

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実（P40）	生涯学習推進課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		各相談者の学習ニーズを把握し、主催する各種講座やニーズに沿うその他社会教育関係団体の情報等を提供する。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、各相談者の学習ニーズを丁寧に聞きとり、ニーズに即した情報等を提供する。また、「人生100年時代の生涯学習活動」の重要を踏まえ、まなびいネットの利用促進や生涯学習の専門的な相談員として対応できるよう職員の育成を図る。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実（P40）	図書館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> レファレンスのワークショップを開催し、市民の情報リテラシーの向上を図った。 レファレンスに対応できる職員の増加を図るため、レファレンス窓口の担当職員を増やし（ローテーションの導入）、能力の向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> レファレンス窓口の担当者 H30:6名 H29:2名 レファレンス報告書の見直しを行い、より精度の高いレファレンス・データベースの作成環境を整備した。 <ul style="list-style-type: none"> レファレンス処理件数 H30:249件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> レファレンスのワークショップなどを引き続き開催し、市民の情報リテラシーの向上に資するよう努める。 多様な相談に対応できるよう、職員研修の充実に努める。 								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実（P40）	戸定歴史館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		中高年層の団体見学の依頼が多く見られる。 市内小中学校の校外学習や学習活動を主目的とした団体からの解説依頼には可能な限り対応した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、市内小中学校の校外学習や学習活動を主目的とした団体からの解説依頼には可能な限り対応することを目指す。多数の依頼に対して、学芸業務職員が1名となり、その他研究員が勤務しているが、週3日程度であることから対応に限界があるという点が課題である。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実（P40）	博物館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・博物館に関する市民の電話や直接来館による問い合わせの相談対応(学芸員)。 ・常設展、企画展における展示解説及び相談対応(学芸員)。 ・パートナー講座 H30:3回 H29:8回 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、学芸員の相談体制、図書閲覧コーナーの相談、個人、団体からの相談を充実する。								
松戸の教育参考ページ		—						

【基本目標3】 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

《施 策》

(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり

施策(1) 総合評価(事業課数7)										
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1	R2	解説
A	—	2/6	33.3%	5/6	83.3%	6/6	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/6	66.7%	1/6	16.7%	0/6	0.0%			
C	—	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 提 供 支 援 業 業 (P41)	生 涯 学 習 推 進 課	<p>【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。</p>						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<p>市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催した。講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきており、またテーマによっては興味、関心が高い市民同士が集まり新たに市民自主企画団体を結成に繋がった。</p> <p>・市民自主企画講座参加人数 H30: 延べ2,134人(26講座75回開催) H29: 延べ1,954人(26講座72回開催)</p>						
		令和元年度の方角性(Action)						
		<p>学習グループの自立を促し主体的に活動させることや、ともに学ぶボランティア活動促進につなげることが課題である。</p>						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	A	A			
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民文化活動支援事業 (P41)	生涯学習推進課	松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供することで、市民文化活動を支援する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供し、市民文化活動を支援した。 ・第70回松戸市文化祭 平成30年9月30日～11月23日(文化会館・文化ホール他) 展覧会: 出品者数159人、出品点数355点、観覧者数5,636人 催し: 出演者数3,276人 観覧者数6,443人 展覧会:(地域)出品者数540人、出品点数2,797点、観覧者数3,527人 催し:(地域)出演者数777人 観覧者数3,077人 ・第53回松戸市美術展覧会 平成30年6月12日～7月1日(文化ホール) 出品点数 316点 観覧者数 3,807人 ・第45回松戸市書道展覧会 平成31年3月19日～3月24日(文化ホール) 出品数 229点 観覧者数 759人 出品者数 229人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供する。						
松戸の教育 参考ページ	P67・68 (3)市民文化活動							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
幼児・児童の読書普及事業 (P41)	図書館	子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するための講座を開催する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> おはなしボランティア研修会 H30:22回(延参加者2,170名) H29:22回(延参加者2,089名) おはなしボランティア養成講座 H30:5回(延参加者209名) H29:5回(延参加者127名) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
		子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するために、引き続き講座を開催するとともに、ボランティア団体自らがネットワークを構築し、活動を広げられるように自主性を促していく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化 振興 財団 運営 費補 助 (P 4 1)	社 会 教 育 課	松戸市の市民文化の創造に寄与することを目的に設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に対して運営費を補助し、多くの舞台芸術鑑賞の機会を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		公益財団法人松戸市文化振興財団に、運営費を補助し、文化芸術活動を支援した。 ・主催事業: H30年度 13,748人(10公演) ・主催事業: H29年度 18,689人(13公演)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
課題は、補助金を支出するだけでなく、市民に多くの舞台芸術鑑賞の機会が提供できるように提案していく等、文化振興財団との連携が必要である。 平成31年度も、事業内容だけでなく補助金の活用について、定期的に打ち合わせを実施していく。 ・主催事業: 9公演を予定								
松戸の教育 参考ページ		P103~104 社会教育施設利用状況 P106 9文化振興財団						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
ま ち づ く り 人 材 育 成 支 援 事 業 (P 4 1)	生 涯 学 習 推 進 課	地域の課題等を見つけ解決していく手法を学び、地域活動に積極的に関わるリーダーとなる人材の育成を行う。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		松戸フューチャーセンター事業として、「よい対話」をするための「専門空間」をつくり、多様な人々が集まり未来志向の対話による良い話し合いを行うことを期して開催した。 ・ワーキング会議 全4回 延べ37人 ・ファシリテーター養成講座基礎編・実践編 計8回 延べ67人 ・おとなのワークショップ 14人 ・フューチャーセンターフォーラム 11人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、松戸フューチャーセンター事業に、市民、企業、NPO、大学、職員等の様々な関係者に参加していただき、未来志向の対話からイノベーションを創造するフューチャーセンターの仕組みと、イノベーション人材の育成や重要性を学ぶ機会を提供する。								
松戸の教育 参考ページ		P71・72 (6)フューチャーセンター取組(セッション開催)状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業(P42)	社会教育課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		社会教育関係団体に関する事業展開については、生涯学習推進課で事業を実施、評価をおこなっており、社会教育課は評価対象外としております。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	—	—	—		
		令和元年度の方向性(Action)						
必要に応じて連携を図ってまいります。								
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業(P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		生涯学習講座の受講生や市民自主企画団体、社会教育関係団体、これから学習や地域活動を始める多くの市民を対象に「まつど生涯学習フォーラム」を開催し、近隣自治体での市民大学の現状や取り組み、NPO団体の活動、地域活動、ボランティア活動など、様々な実践事例を紹介し、今後の活動のきっかけづくりや情報交換の場を提供した。						
		・まつど生涯学習フォーラム 11/7 H30:参加者241人 H29:参加者187人						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	A	A		
令和元年度の方向性(Action)								
引き続き地域の担い手を目指すきっかけづくりや成果発表、事例発表の場として、生涯学習フォーラムを開催する。								
・まつど生涯学習フォーラム 9/19								
松戸の教育参考ページ	—							

《 施 策 》

(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進

施策(1)総合評価(事業課数15)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	5/15	33.3%	5/15	33.3%	7/15	46.7%					A:施策の目標どおり推進できた B:施策について概ね順調に推進している C:施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	7/15	46.7%	9/15	60.0%	8/15	53.3%					
C	—	3/15	20.0%	1/15	6.7%	0/15	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
矢切公民館管理運営事業(P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体をはじめとした市民の主体的な学習活動を支援する社会教育施設として、学習の場を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 H30:2,402件[33,398人](内社会教育関係団体1,885件[23,810人]) H29:2,553件[34,521人](内社会教育関係団体2,037件[26,315人]) ・矢切公民館文化祭・音楽祭を今年度も実施した。 文化祭 H30:来場者数430人(11団体参加) H29:来場者数414人(11団体参加) 音楽祭 H30:来場者数379人(11グループ128人出場) H29:来場者数341人(12グループ138人出場) ・インターネット予約システム導入により、利便性と効率化に繋がった。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B			
		令和元年度の方角性(Action)						
		矢切地区に限らず、市内全域の利用促進を図る。 文化祭・音楽祭については役員・団体と連携し、よりいっそうの内容の充実と来場者数増加を図る。						
松戸の教育参考ページ		P65 [文化祭] [音楽祭] P95 [矢切公民館] P102 [矢切公民館]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
タウンスクール管理運営事業（P42）	生涯学習推進課	市立根木内小学校内の余裕教室を「タウンスクール根木内」として、地域の学習活動等に提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		利用状況 H30:677件[7,608人](内社会教育関係団体91件[551人]) H29:720件[7,158人](内社会教育関係団体70件[446人])						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、利用者が快適に学習活動等できるよう適切な管理運営に努める。								
松戸の教育参考ページ		P95【タウンスクール根木内】 P102【タウンスクール根木内】						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年会館管理運営事業（P42）	生涯学習推進課	市内青少年の健全育成と教養の向上を図るために設置した施設であり、仲間づくりの場や学習機会を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		インターネット施設予約を導入し、利用者の利便性を図ったことにより件数及び人数が前年度に対し増加となっている。 施設の老朽化による修繕も継続的に発生しているが、迅速に対応しているため利用ができなくなる等の状況には至っていない。 ・利用件数、人数 H30:本館 4,664件、86,275人／分館 1,151件、17,080人 H29:本館 4,324件、83,889人／分館 993件、15,938人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
施設の老朽化に対応できるよう、引き続き計画的な修繕を図る。 利用者の利便性を図ると共に、更なる周知に努め利用者の増加を図る。 青少年の居場所として、仲間づくりや地域の人たちと触れ合うことができる時間と場所を提供して行く。								
松戸の教育参考ページ		P102 8社会教育施設利用状況[青少年会館本館]・[青少年会館分館]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館 (再掲) (P32) 事業 (P42)	図書館	市民の暮らしに役立つ蔵書の充実を図るとともに、読む事の困難な方々への支援になる資料を整備する。また、市民の抱える課題の解決に資するため、レファレンスサービス等の充実を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・小さい字に読みづらさを感じる方が不自由なく読書を行えるよう、大活字資料の収集を進めた。 ・大活字資料所蔵数 H30:2,217冊 H29:2,153冊 ・さまざまな外部研修への職員の派遣を行うとともに、館内職員研修(3回/年)を行い、レファレンス能力等、専門的な職員の資質向上を図った。 ・職員派遣研修数(庁内研修除く) H30:39件 H29:33件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	C	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> ・知識や情報への平等なアクセスを保障するため、大活字資料、外国語資料をはじめ、多様な資料を収集する。 ・外部研修への職員派遣、および館内研修の充実に努め、専門的職員の資質向上を図る。 								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化ホール 管理運営 事業 (P42)	生涯学習 推進課	市民の学習の場として、多様な文化活動の発表の場のために設置した施設であり、更なる利用の促進を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・美術展、書道展、写真展等の各種展覧会等の利用状況 文化ホール利用件数 H30:63件 H29:57件 利用人員 H30:40,350人 H29:39,221 ・展示設備の老朽化と展示機能の経年劣化、施設の狭隘化等から利用者ニーズに十分にこたえられない状況になっている。平成30年度も備品劣化に伴う利用者への安全配慮のため危険性の高い作品展示用の机・椅子などを廃棄した。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、利用者ニーズに適切にこたえて行く為、施設設備の維持管理に努め、一層の利用促進を図る。								
松戸の教育 参考ページ	P97【文化ホール】 P103【文化ホール】							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民劇場管理運営事業 (P43)	社会教育課	市民の芸術及び文化活動の場を提供するために設置した施設であり、さらに団体などの利用に供し、広く市民の活用の促進を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、松戸市文化振興財団においてHPのリニューアルを行った。維持管理の面では、計画的に修繕や工事を行うことにより、常に市民に良好な状態で施設提供できるように努めた。 ・利用件数等：H30：78,985人(1,714件) ・利用件数等：H29：79,892人(1,793件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
課題は、市民に安全に利用して頂くための施設の整備であり、日々点検を行いながら修繕等に計画性をもって適切な管理を行っていく。 なお、本年度は歩行者の安全を確保するため、歩道に面した外壁改修を行う。								
松戸の教育参考ページ		P103 8社会教育施設利用状況〔市民劇場〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民会館管理運営事業 (P43)	市民会館	ホール、会議室、ながいき室及びプラネタリウム室等を備えており、市民に文化・芸術の振興、生涯学習の普及及び地域コミュニティの場を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		利用者の安全確保のため、避難階段改修工事及び会議室棟北側外壁修繕を実施。また、設備の老朽化に伴い舞台 Horizont 幕の交換を行った。 ・ホール、会議室等 H30：217,356人(6,793件) H29：190,632人(6,433件) ・プラネタリウム H30：12,316人(566回) H29：11,869人(579回)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B			
		令和元年度の方向性(Action)						
竣工(昭和39年11月)後54年が経過し、建物・設備等の老朽化が著しいため、中短期的な計画を立てた修繕が望まれる。なお、工事の時期については、他のホールと連携し、工事が重なって利用者に不便を来さないように配慮する必要がある。								
松戸の教育参考ページ		P105 8社会教育施設利用状況〔市民会館〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化 会館 管理 運営 事業 (森のホール21) (P43)	社会 教育 課	市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るために設置した施設であり、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場として、さらに人々の芸術文化活動を支援する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、松戸市文化振興財団においてHPのリニューアルを行った。維持管理の面では、計画的に修繕や工事を行うことにより、常に市民に良好な状態で施設提供できるように努め、小ホール温水洗浄便座設置工事を実施した。 ・利用件数等：H30 333,365人(3,388件) ・利用件数等：H29 372,571人(3,776件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
課題は、市民に安全に利用して頂くための施設の整備であり、日々点検を行いながら修繕等に計画性をもって適切な管理を行っていく。								
松戸の教育 参考ページ		P104 8社会教育施設利用状況〔文化会館〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
松 雲 亭 管 理 運 営 事 業 (P43)	戸 定 歴 史 館	茶室である松雲亭の利用促進を図り、社会教育施設として、茶道だけでなく、様々な文化的活動に対し、市民の文化的教養を深める機会及び学習の場を提供する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		茶道のほか、香道、短歌、俳句、吟行、吊るし雛の展示、歴史勉強会、朗読会、甲冑の製作・着用体験などに利用された。 ・利用者の延べ人数 H30：6,454人 (180件) H29：6,335人 (191件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
茶道に限らず様々な芸術文化的活動に対し、文化的教養や芸術的教養を深める機会の提供と歴史や文化芸術に係わる学習の場を提供していく。								
松戸の教育 参考ページ		P94 6戸定歴史館〔松雲亭の貸出〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館管理運営事業(P43)	博物館	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置した施設であり、利用者が安全で快適な環境で学習できるよう更なる利用の促進を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		開館後25年が経過して施設の老朽化が目立つが、年次計画による修繕で対応している。また、高圧受電ケーブルが老朽化しているため工事を行った。						
		・博物館利用者数 H30:81,412人 H29:73,628人						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	C	C	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
		博物館の老朽化問題については、利用者に安全で快適な施設を提供するうえで、重要な課題である。損傷状況に応じ、年次計画で修繕等を行い施設の適正な維持管理を図る。 なお、令和元年度は、縄文の森連絡橋の改修工事を行う。 また、21世紀の森と広場地域の利用者増をめざして、文化会館・公園管理事務所との事業連携を進めていく。						
松戸の教育参考ページ		P24 博物館管理運営事業						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
シティ・ミニコンサート開催事業(P43)	生涯学習推進課	松戸にゆかりの音楽家を市役所(市議会議場)に招き、毎月第3水曜日に定期コンサートを開催する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		お昼のくつろぎの時間を利用して、芸術性の高い音楽を市民や職員に提供すると共に、松戸市ゆかりの演奏者を中心とした音楽活動の場を提供、市民の音楽文化の涵養に寄与する。回数/開催日/タイトル/出演 第227回4/18(水) 音楽が架ける虹の橋(梅原孝輔ほか) 第228回5/16(水) 風薫る二重奏との出会い(渡来さやかほか) 第229回6/27(水) 民謡の調べ(メンサー華子ほか) 第230回7/18(水) チェロで聴くフランス音楽(小川泰則ほか) 第231回8/22(水) ピアノで歌う「うた」(杉浦菜々子) 第232回9/26(水) 心の歌を秋風に乘せて(豊原奏ほか) 第233回10/17(水) ヴィオラとピアノで奏でる秋のうた(中山綾ほか) 第234回11/21(水) 音楽の詰め合わせ(彦坂優太ほか) 第235回12/19(水) あわてん坊のクリスマスコンサート(石田絹恵ほか) 第236回1/16(水) 竹林を抜ける風の音・尺八(アーミン・ローベック)、20周年記念コンサート3/9(土)(井ノ上洋ほか)※3/9のみ森のホール21で開催						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
				令和元年度の方向性(Action)				
		引き続き、お昼のくつろぎの時間を利用して、芸術性の高い音楽を市民や職員に提供すると共に、松戸市ゆかりの演奏者を、中心とした音楽活動の提供の場として、市民の音楽文化の涵養に寄与する。						
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
生涯学習センター計画事業（P43）	社会教育課	図書館整備計画と連携した、生涯学習センターの計画策定に着手する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		社会教育施設の整備と機能の充実として、図書館機能を中核とする市民の学びを支援する複合施設の整備について、関係各課によるワーキングチームを立ち上げ、一定の方向性を示すことができた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
課題は、各担当課の共通理解を図りながら問題を整理していくことである。令和元年度は、引き続き、関係各課と連絡を図りながら進めていく。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
地域の居場所づくり促進事業（P43）	社会教育課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。					
		・居場所づくりに関する調査・研究					
		平成30年度の実施状況(Do)					
		東松戸にある旧齋藤邸において、地域の人々が気軽に参加できる絵画や絵手紙の講座を実施した他、季節のミニコンサートや祭りを開催し、地域の居場所づくりとして場を提供することができた。					
		H30 団体利用件数等: 公用1,191人(43件) H29 団体利用件数等: 公用350人(33件) : 公用以外 740人(35件) : 公用以外 650人(37件) ・利用者数: 2,328人 ・利用者数: 1,386人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1
	—	C	B	A			
令和元年度の方向性(Action)							
旧齋藤邸は文化財としての位置付けの他、地域の居場所づくりとしての活用も進めている。令和元年度も、多くの市民や団体が学習、交流できるよう広報まつどやHP、町会案内等で周知を図り、地域の居場所づくりとしても活用して頂けるようにしていく。なお、現在の利用者数は年々増加しているが、その利用者数を維持していくのが、課題である。							
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
地域の居場所づくり促進事業（P43）	生涯学習推進課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。					
		・居場所づくりに関する調査・研究					
		平成30年度の実施状況(Do)					
		公民館を学習拠点として活動している社会教育関係団体の作品展示や発表会を実施した。					
		・矢切公民館文化祭 平成30年11月1日(木)～11月4日(日) H30: 出品者数142人、出品数544点、来場者数430人 H29: 出品者数150人、出品数513点、来場者数414人					
		・矢切公民館音楽祭 平成31年2月17日(日) H30: 出場者数128人、曲目数64曲、来場者数379人 H29: 出場者数138人、曲目数59曲、来場者数341人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1
	—	B	B	B			
令和元年度の方向性(Action)							
引き続き、学習の成果の発表の場の提供や居場所の支援を実施していく。							
松戸の教育 参考ページ	P65 [文化祭] [音楽祭]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地域の居場所づくり促進事業（P43）	図書館	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		・本館5階の学習室を図書館資料を使用した学習の場として提供し、隣接する休憩コーナーを交流の場として開放した。						
		・本館3階におけるWi-Fiサービスの提供を開始し、学習の場としての基礎的環境整備を進めた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
令和元年度の方向性(Action)								
・地域の居場所としての役割を担えるように、必要な調査・研究を行っていく。 ・学習の場としての基礎的環境整備のため、本館5階におけるWi-Fiサービスの提供を開始する。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導

施策(1) 総合評価(事業課数6)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	5/6	83.3%	5/6	83.3%	5/6	83.3%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/6	16.7%	1/6	16.7%	1/6	16.7%					
C	—	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)										
学 (各種講座開催) 提供 事業 (P32) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【ふるさと発見創造講座】 自らの生活課題や社会的課題に即した学習をはじめ、松戸の歴史・文化・環境などを調査研究しその成果をまとめ市民に伝えるなど、社会貢献活動にかかわる学習グループづくりを目指した学習機会を提供する。										
		平成30年度の実施状況(Do)										
		平成29年度まで名称を使用していた「ふるさと発見創造講座」から、講座名を「まつど生涯学習大学講座(創年コース)」と変更し、入門コースを修了した方を対象に、より専門的な学習や地域活動、団体活動、ボランティア活動等を実践的に始めるきっかけとなることを期して開催した。										
		・まつど生涯学習大学講座(創年コース) H30:(全10回) 5/31~2/14 延べ186人 H29:(全15回) 5/31~2/14 延べ199人										
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	R1	R2			
				—	A	A	A					
		令和元年度の方角性(Action)										
昨年度は、受講生のリピート率の多さや学習内容のマンネリ化が続いていたため、講座名を変更して開催したが、講座内容の不明確さや生涯学習大学入門コースとの繋がり、生涯学習の段階的なステップアップ講座としては難易度が高いと感じられたため、従前の講座名「ふるさと発見創造講座」として開催し、講座コーディネーターも従来とは別の講師に依頼して講座の刷新を図る。												
松戸の教育参考ページ		P64 [ふるさと発見創造講座]										

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 支 援 （自主企画活動支援） （再掲） （P41） （P44）	生 涯 学 習 推 進 課	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催した。講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきており、またテーマによっては興味、関心が高い市民同士が集まり新たに市民自主企画団体を結成に繋がった。 ・市民自主企画講座参加人数 H30:延べ2,134人(26講座75回開催) H29:延べ1,954人(26講座72回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、現在の自主企画団体の活動を支援するとともに、各種講座等の受講者から新たな自主企画団体が誕生するよう機会ある度に働きかける。また、設立して相当期間が経過した団体には、自立を促し主体的に活動させるとともに、生涯学習活動で培ったものを地域活動に活かすよう動機付けを行う。								
松戸の教育 参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 支 援 （自主企画活動支援） （再掲） （P41） （P44）	生 涯 学 習 推 進 課	【生涯学習支援ボランティアバンク】 地域社会をよくするために、市民が主体となり学習した成果や自らの経験や知識を生かすことを目的とした生涯学習支援ボランティアバンクを設置し、学習支援の促進を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		まつどまなびいネットやホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、利用の促進を行う。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、まつどまなびいネットやホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、広く市民に周知し、利用の促進を図る。								
松戸の教育 参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館友の会支援・協働事業（P44）	博物館	学びの場としての役割を達成するうえで、博物館友の会と相互に連携を図り、共催による講座・講演会・体験教室を企画・実施する（小学生学芸員「米づくり」、こども体験教室「郷土玩具をつくろう」など）。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		社会教育関係団体である博物館友の会に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施した。 ・共催事業 H30: 講演会(6事業)、体験教室(11事業) H29: 講演会(6事業)、体験教室(9事業)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
大学生・高校生の利用は少ないのが現状である。友の会との共催事業をこれまで以上に活発化するとともに、友の会の支援、案内送付、ポスター掲示を行う。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
成人式開会事業（P44）	社会教育課	「国民の祝日に関する法律」に定められた「成人の日」の趣旨である、「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ため、新成人自らが企画運営する成人式を開催する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		成人式については、新成人自らが企画運営する参加型学習機会の場であるが、松戸市の四季を通じた「記念映像」の上映や、今までの人生でお世話になった人々への感謝をテーマにした「新成人の主張」、式典中のイベントなどを通して企画したことを実践に結びつけ、新成人スタッフの自己実現を図ることができた。 ・H30 成人式出席者数: 2932人 H29成人式出席者数: 2,873人 成人式出席率: 59.4% 成人式出席率: 58.5% 新成人スタッフ: 15名 新成人スタッフ: 18名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A		
		令和元年度の方向性(Action)						
課題は、成人式については、新成人が考えるイベント内容に、どのようにしてその趣旨を伝えるか、また、当日は多くの新成人がいかに参加できるかである。平成30年度は、多くの新成人が参加できるよう午前午後の2部制としたが、出席率については若干の増加であった。出席率が上がるよう、工夫が必要である。								
松戸の教育参考ページ		P54 成人式開催状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
美術文 (地域美術振興支援) 事業(P44)	社会教育課	松戸市在住・在勤美術家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して地域の文化芸術活動の振興を支援する。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		松戸市在住・在勤美術作家4人の活動を個展形式で市民に紹介する「松戸の作家の個展」を開催し、その情報を広く市内外に発信した。 ・会場 森のホール21 アート・スペース(エントランスホール内) ・開催期間 平成30年6月～平成31年3月(1回約2ヶ月間×4回) ・参加作家 4人(小島隆三氏、沖本美保氏、坂元洋介氏、原大介氏)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		-	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		本事業を継続して実施する。 展示作品を平面に限っているが、作家の年齢層やジャンル等が偏らないように配慮する。 【課題】 ・展示環境の向上 ・出品可能な美術家の発掘						
松戸の教育 参考ページ	P61 (3)美術館準備室							

【基本目標4】 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

〈施 策〉

(1)家庭教育の充実

施策(1) 総合評価(事業課数1)										
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1	R2	解説
A	—	1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%			
C	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)														
家庭教育 生涯学習 推進課 (一部再掲) (P34) () (P45)		家庭の教育力の向上を支援するため、幼児、小学生、中学生の保護者に学習機会を提供する。 ・家庭教育学級 ・幼児家庭教育学級講座 ・中学校家庭教育学級 ・市全体として家庭の教育力を支援する方策の研究														
		平成30年度の実施状況(Do)														
		家庭の教育力向上の一環として、保護者同士が交流したり、子育てや家庭のことを学んだりする場として、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級や講演会等を行なうとともに、小学校45校の地域の特性をいかした家庭教育学級へ相談支援をおこなった。また、共働きやひとり親世帯の方も参加し子育てについて対話できる場を開催した。 ・小学校家庭教育学級 H30: 市立小学校45校設置 426講座 延べ7,721名参加 H29: 市立小学校45校設置 419講座 延べ7,985名参加 ・家庭教育Cafe H30: 保護者12名児童11名参加 H29: 7名参加 ・幼児家庭教育学級講座 H30: 幼児家庭教育学級5回16組参加 入学直前講座2回68名参加 H29: 幼児家庭教育学級10回95組参加 入学直前講座1回35名参加 ・中学校家庭教育学級 H30: 1講座5回延べ413名参加 H29: 1講座4回延べ191名参加 ・市全体として家庭の教育力を支援する方策の研究 川島隆太教授 家庭教育支援講演会 H30: 古ヶ崎小学校 252人参加 H29東松戸小学校 181人参加 パートナー講座 H30: 34回 延べ750人参加 H29: 42回 延べ1,019人参加														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2		—	A	A	A		
	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2									
		—	A	A	A											
		令和元年度の方向性(Action)														
		共働きやひとり親世帯においては家庭教育の講座や講演会に参加できない状況にある。そういった家庭の保護者も参加しやすい場の提供等の工夫をしていく。発達段階に応じた家庭教育の推進として、保護者のニーズに応じた小学校入学直前講座を充実、展開していくとともに、幼稚園、保育園の保護者との連携を模索していく。 家庭教育啓発パンフレットの動画を活用し、発達段階に応じた内容のパートナー講座の開発・開催をする。 小学校家庭教育学級では、児童数や共働き世帯の割合等の影響等から人数が集らず運営に苦慮している学校が出てきているため、社会教育指導員が学校の実情の把握に努め、きめ細やかな支援を行う。														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">松戸の教育参考ページ</td> <td>P66(2)家庭教育学級等の状況</td> </tr> </table>	松戸の教育参考ページ	P66(2)家庭教育学級等の状況												
	松戸の教育参考ページ	P66(2)家庭教育学級等の状況														

《 施 策 》

(2) 地域、学校、家庭の連携事業の促進

施策(2) 総合評価(事業課数4)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	0/4	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/4	100%	3/3	100%	3/3	100%					
C	—	0/4	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)										
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	教育企画課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。										
		平成30年度の実施状況(Do)										
		小金北中学校区(小金北中・小金北小・殿平賀小)と牧野原中学校区(牧野原中・松飛台小)において、それぞれ体験活動や学習支援などの活動が行われている。										
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
		—	B	B	B							
		令和元年度の方向性(Action)										
これまで2学校区で展開してきた本事業だが、令和元年度より、新たに1学校区(矢切小)が加わるようになった。新たに加わる矢切小学校では、既に農業体験や、読み聞かせボランティア、家庭科ミシン実習補助など10を超えるボランティアが学校を支援している。これらの既存のボランティア活動や地域の従来の活動は継続していきながら、本事業の趣旨に近づけるよう、新たな取り組みも実施し、活動の組織化を支援していく。												
松戸の教育参考ページ		—										

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	社会教育課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		平成29年度以降は、教育企画課で事業を実施、評価をおこなっており、社会教育課は評価対象外としております。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	—	—		
		令和元年度の方向性(Action)						
平成29年度以降、必要に応じて連携を図っております。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	生涯学習推進課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		まつど生涯学習講座、ふるさと発見創造講座、成人講座、市民自主企画講座、生涯学習フォーラム等の各種生涯学習事業を通して、子育てや学習支援をはじめ地域の担い手(ボランティア含む)の育成に取り組んだ。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、各種講座を通して地域の担い手(ボランティア含む)の育成に取り組む。								
松戸の教育 参考ページ	P62～P64(1)講座状況							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
幼児・児童の読書普及事業 (P41) (P45)	図書館	ボランティアを支援し、家庭や学校と連携した、地域における子どもの読書活動の推進を図る。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での読み聞かせや親子絵本講座を実施し、保護者やボランティアの読み聞かせ活動の支援をした。 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ講座等(研修会含む) H30:17回(延参加者404名) H29:19回(延参加者498名) ・図書館おはなしボランティアを育成して、おはなし会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 H30:404回(延参加者10,335名) H29:478回(延参加者11,792名) ・家庭教育学級や保育所等に講師を派遣し、本の選び方や読み聞かせの方法についての出前講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣 H30:9回 H29:12回 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和元年度の方向性(Action)						
引き続き、保護者やボランティアの支援及び学校、保育所等の連携を図り、子どもの読書活動の充実に努める。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《施 策》

(3) 多様な学習、体験活動の充実

施策(3) 総合評価(事業課数2)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/2	100%	2/2	100%	2/2	100%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%					
C	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)											
青少年会館 学習機会提供事業 (P36)	生涯学習課	<p>青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり、自己表現を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教室 ・青年講座 											
		平成30年度の実施状況(Do)											
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施青少年教室 H30:47教室 延べ参加者数2,346名 H29:47教室 延べ参加者数2,415名 文化系、スポーツ系、体験型等、幅広い視野からプログラムを企画し、提供した。 ・実施青年講座 H30:7講座 延べ参加者数271名 H29:7講座 延べ参加者数231名 身近な課題を取り上げ学習をすることで、仲間作りをし、活力あるグループの形成を図った。 											
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	R1	R2				
				—	A	A	A						
		令和元年度の方角性(Action)											
		<p>(青少年教室) 魅力ある内容の企画運営、学校への周知(訪問の上チラシ配布等)を通して参加促進に努める。多くの子どもたちが参加できるよう、市内全域の施設で教室を開催していく。 また、市内高校の部活動の生徒が小中学生向けの青少年教室の講師となり、家庭では経験することの少ない内容の体験型講座も実施していく。</p> <p>(青年講座) 若者の興味を引く内容の講座を企画運営、参加しやすい曜日・時間帯を考慮して実施していく。</p>											
		松戸の教育参考ページ		P73~P75(7) 青少年会館講座状況〔青少年教室〕・P78〔青年講座〕									

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年 生涯学習 推進課 (一部再掲) (P34) (業P46)	青少年 生涯学習 推進課	青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とするとともに、仲間づくり、社会的連帯感を高めていく機会とする。						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		・青少年会館主催の青少年教室や会館を利用する青少年団体等の成果発表を行うとともに、団体相互や地域との親睦を深め交流する機会とするため、文化祭&青年フェスティバルを実施。 文化祭&青年フェスティバル 11月3日(祝) H30:来場者3,398人 H29:来場者2,954人						
		・地域に根差した青少年の芸術活動を支援し、活力ある青少年を育成することを目的とし、アートパフォーマンスまつり(芸術祭)を実施。 アートパフォーマンスまつり(芸術祭) 2月23日(土) H30:来場者1,542人 H29:来場者1,819人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A			
		令和元年度の方向性(Action)						
		引き続き、文化祭&青年フェスティバル及びアートパフォーマンスまつり(芸術祭)において、成果発表の場の提供や多様なプログラムを通じて、地域やNPO、子ども同士等が様々な交流を図れるよう更なる充実に努める。						
松戸の教育 参考ページ	P78[その他の状況]文化祭&青年フェスティバル・アートパフォーマンスまつり(芸術祭)							

《 施 策 》

(4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供

施策(4) 総合評価 (事業課数 1)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	1/1	100%					A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/1	100%	1/1	100%	0/1	0.0%					
C	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年の社会教育活動支援事業 (P46)	生涯学習課	青少年教育にかかわる指導者の養成と指導者の交流の機会を提供します。 ・子どもの心と体の発達を理解する講座						
		平成30年度の実施状況(Do)						
		子どもに関わるNPOとの協働事業にて、子どもと関わる際のコミュニケーションや良いグループの作り方について学ぶ講座を実施した。						
		子どもに関わる担い手育成事業 「ある呪われた青少年会館からの脱出」 「あそびづくりの夏」						
		H30: 2講座 全5回 受講者: 述べ59名 H29: 1講座 全3回 受講者: 述べ83名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A		
令和元年度の方角性(Action)								
引き続き、子どもに関わる担い手育成事業として講座を実施して行く。 また、子どもと関わるイベント等を実施し、受講者が講座の成果を発揮し、継続的に担い手として活躍できる機会を提供して行く。								
松戸の教育参考ページ		P76 子どもに関わる担い手育成プログラム						